

使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

# パワコン

# LSPA-61

## 取扱説明書



 **ミツ岡 産業株式会社**

# はじめに

- この度は、パソコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書は、パソコンを使用する際に是非、守っていただきたい安全作業に関する基礎的事項、パソコンを適切な状態で使って頂くための正しい運転、調整、整備に関する技術的事項を中心に構成しております。
- パソコンを初めて運転される時はもちろん、日頃の運転・取扱いの前にも初心に立ち返り入念に読み、十分理解され安全・確実な作業を心がけてください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように保管してください。
- パソコンを貸与または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただき、この取扱説明書をパソコンに添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた、販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- もし、お分かりにならない点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 取扱説明書の中の **▲重要** 表示は、下記のように安全上、取扱上の重要なことを示しております。よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

表 示	重 要 度
<b>▲ 危 険</b>	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しております。
<b>▲ 警 告</b>	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しております。
<b>▲ 注 意</b>	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しております。
<b>重要</b>	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用ください。

# 目 次

1.安全に作業をするために	1
2.安全銘板の貼り付け位置	3
3.本製品の使用目的について	3
4.仕様	4
5.各部の名称	4
6.作業前の準備	5
7.作業のしかた	7
8.注油箇所	9
9.作業後の掃除と手入れ	10
10.各部の調整	11

## 1.安全に作業をするために

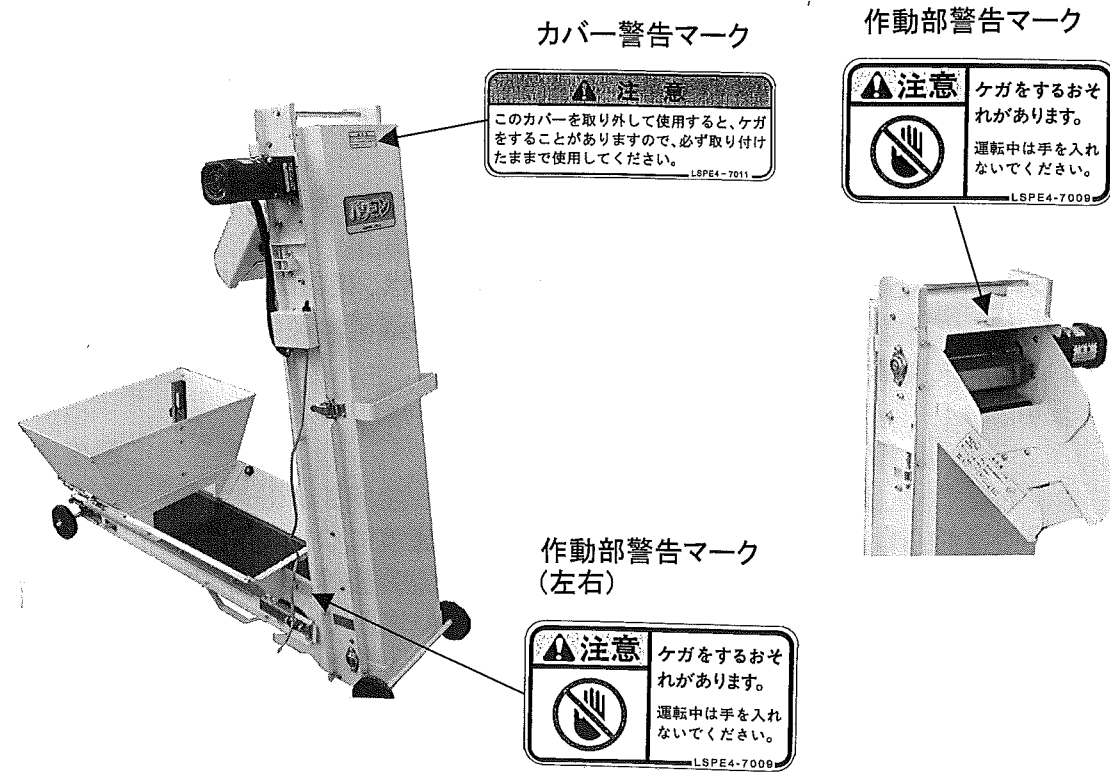
ここに記載されている注意項目を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

- 子供を近づけない  
子供には十分注意し、近づけないようにして下さい。  
守らないと、傷害事故をひき起こすおそれがあります。
- 二人以上で作業するときは、お互いに合図しながら機械を始動する  
守らないと、思わぬ事故になることがあります。
- 使用前に取扱説明書を必ず読む  
使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をして下さい。  
守らないと、傷害事故や機械の破損をひき起こします。
- 作業に適した服装をする  
はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。  
作業に適した、だぶつきの無い服装をして下さい。  
守らないと、機械に巻き込まれたりするおそれがあります。
- 電源は交流100V専用コンセントに接続する  
タコ足配線はおやめ下さい。  
守らないと、火災事故の原因となります。
- 電気部品・コードを必ず点検  
配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検して下さい。  
守らないと、ショートして、火災事故を起こすおそれがあります。
- 点検・整備時には必ず電源を「切」にし、差込みプラグを抜く  
点検・整備は、必ず電源を「切」にし、差込みプラグを抜いてから、行なって下さい。  
守らないと、思わぬ事故を起こします。
- こんなときは作業しない  
・過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。  
・酒を飲んだとき。  
・妊娠しているとき。
- 点検・整備を行う  
機械の使用前後には、必ず点検・整備をして下さい。  
守らないと、事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。
- 作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチを切る  
守らないと、通電時、急にまわりだし思わぬ傷害事故を起こします。

- 作業を中断・終了した場合は、必ず電源電源スイッチを切る  
守らないと、ショートして、火災の原因になることがあります。
- 機械の改造禁止  
純正部品や指定以外のアタッチメントを取付けたり、改造しないで下さい。  
守らないと、事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。
- 後始末を忘れずに  
長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから抜いて下さい。  
守らないと、火災事故や感電事故の原因となります。
- 濡れた手では触らない  
濡れた手で電源プラグ・スイッチ等には、絶対に触れないで下さい。感電のおそれがあり大変危険です。
- カバー類は必ず取付ける  
点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取付けて下さい。  
守らないと、機械に巻き込まれて、傷害事故をひき起こすおそれがあります。
- 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する  
取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導して下さい。  
守らないと、傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。
- 水洗い厳禁  
本機には、絶対に水をかけないで下さい。  
感電や漏電火災の原因となり大変危険です。
- 作業環境について  
降雨時の屋外作業や、屋内でも水気や湿気の多い場所での作業は絶対にしないで下さい。  
守らない場合は感電のおそれがあります。

## 2.安全銘板の貼り付け位置

- 安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
- 安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損、紛失した場合は、新しいものに貼り直して下さい。
- 安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に安全表示ラベルもお買い上げいただいた販売店・JA（農協）へ注文してください。



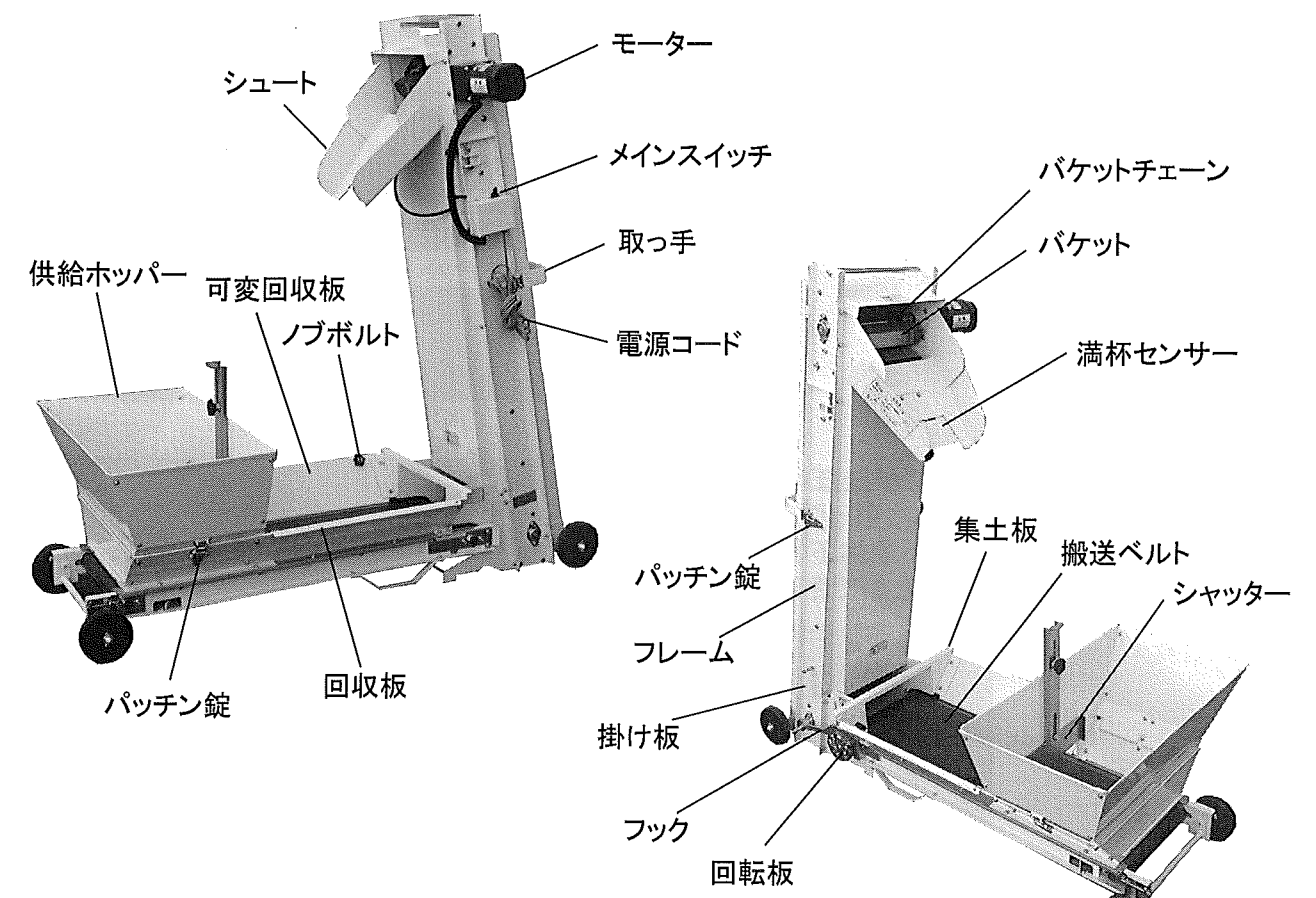
## 3.本製品の使用目的について

本製品は、土供給の作業機としてご使用下さい。  
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないで下さい。

## 4.仕様

型式	LSPA-61
全長×全幅×全高	1426×645×1504 mm
重量	70 kg
動力	90W/100V ギヤードモーター(50Hz、60Hz)
供給ホッパー容量	60 ℓ
適用機種	LSPE-4・L・R LSPE-40・R LSPE-6・R LSPE-60・R LSPE-61・R LSPA-1・2 LSA-1 OSE-10・11・30 OSE-100・110 VE-10・30 VOE-10 VHA-1 LSE-5
能力	最大供給量 2000 ℓ/時 (50Hz、みのる純正ピート培土使用時)

## 5.各部の名称

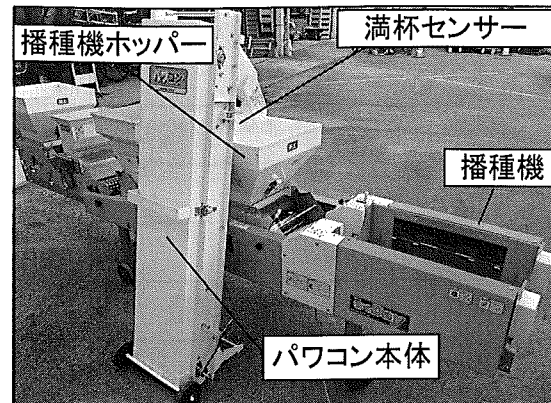


## 6.作業前の準備

- ① 水平な場所を選び、右の写真のように播種機とパワコン本体をセットします。

### 注意

パワコン本体をセットする時に、満杯センサーが播種機ホッパーにぶつかると、故障の原因になりますので注意して下さい。



### 重要

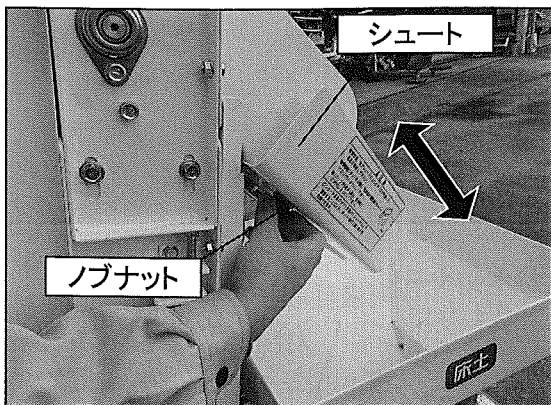
本体を持ち運ぶ時は、バランスに注意しながら、上部の軸と取っ手を持って持ち運びして下さい。



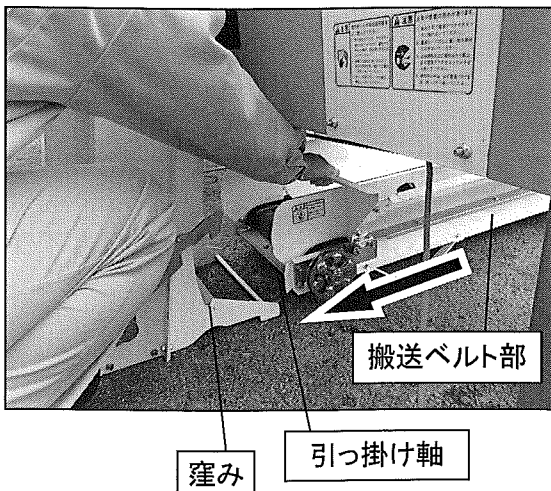
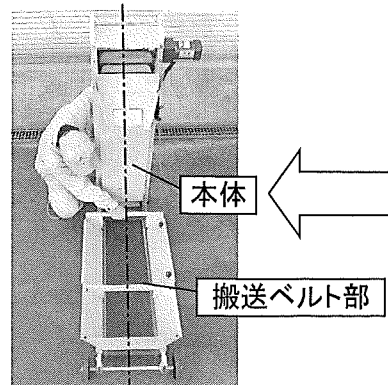
- ② ノブナットを弛め、シュートの上下位置を適宜調整して下さい。

### 重要

シュートの上下位置を変更することにより播種機ホッパー内の土盛り高さを変更することができます。



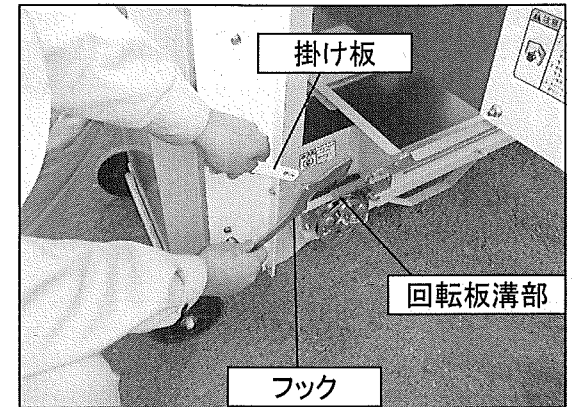
- ③ 本体に対して搬送ベルト部がほぼ中心になるように合せ、本体方向に引っ張ると搬送ベルト部引っ掛け軸が本体下部の窪みに納まり、連結することができます。



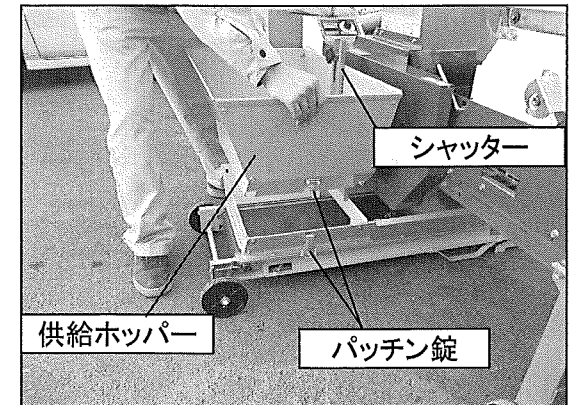
- ④ フックを掛け板から外し、搬送部回転板に掛けて下さい。

### 重要

フック先端を回転板の溝部に置くだけで完了です。



- ⑤ シャッターを播種機側にして供給ホッパーを載せ、パッチン錠で固定します。



## 7.作業のしかた

安全には十分注意して、次の要領で作業を進めて下さい。

### ⚠ 注意

作業中に急に機械が停止したり、異音等の異常に気づいた時は、必ずメインスイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてからその原因を調べ、正常な状態に戻してから作業を続けて下さい。

### ⚠ 注意

降雨時の屋外作業や、屋内でも水気や湿気の多い場所での作業は、絶対にしないで下さい。守らない場合は感電のおそれがあります。また、あまり低温時には作業を行わないで下さい。機械の損傷や思わぬ事故の原因になります。

- ① 電源コードを単相100V電源に差込み、メインスイッチを「入」「切」にしてバケットの動きを確認して下さい。



### 重要

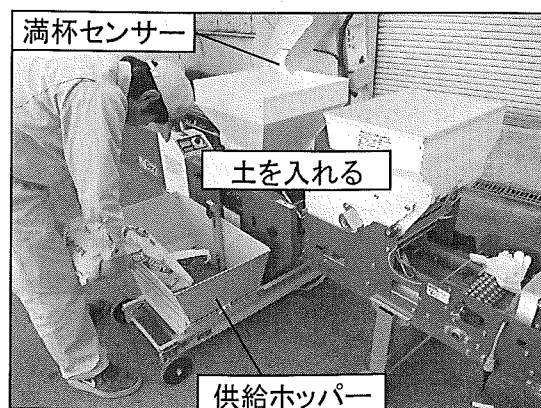
本機を無負荷の状態で作働させますと、まれに回転板が逆転し、搬送ベルトが正常に動作しない事があります。実使用で土を入れて搬送ベルトに荷重が掛かった状態であれば、問題の発生はございません。



- ② 供給ホッパーへ土を入れます。

### ⚠ 注意

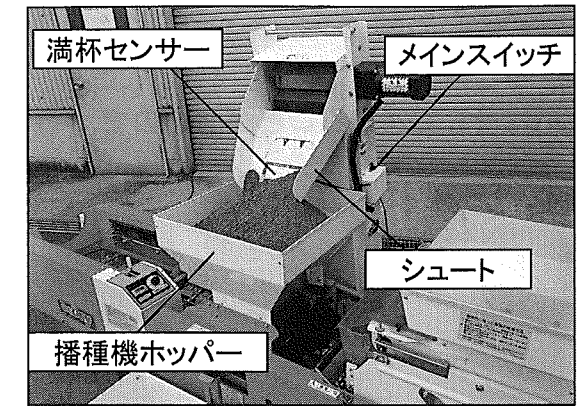
スコップ等を扱う時は、満杯センサーにぶつからないように注意して下さい。



### 重要

使用する土の選択を誤ると、即育苗の失敗に繋がります。土の選択で失敗しないためには、純正培土のご使用をお勧めします。

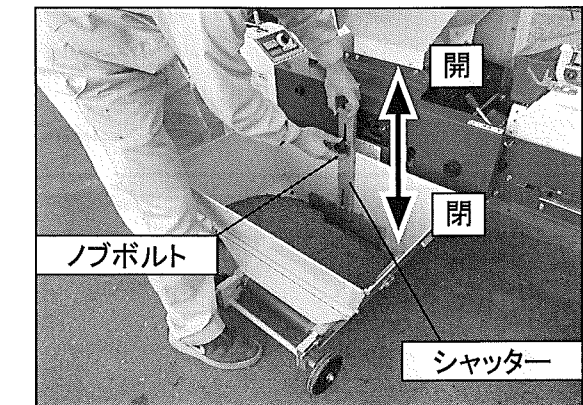
- ③ メインスイッチを「入」にして、播種機のホッパーへ土を供給します。土が満杯になるとセンサーが感知して、自動停止します。



- ④ 播種機のスイッチを「入」にして作業を開始します。播種機ホッパー内の土が減ってくるとパワコンが作動します。

### ⚠ 注意

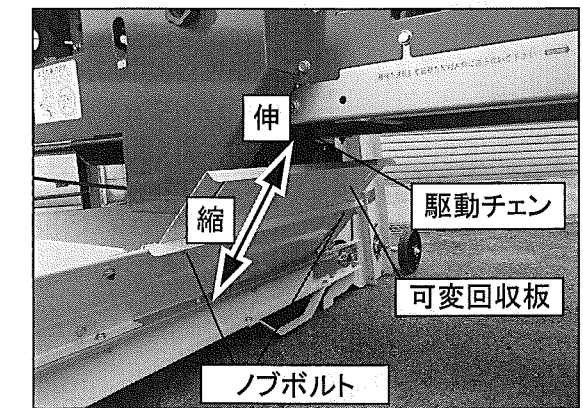
満杯センサー及びシュートに土やゴミが付着した場合は、こまめに取り除くようにして下さい。



- ⑤ 播種機ホッパー内の土が増減しないように(土の供給量と使用量がほぼ同じになるように)シャッターのノブボルトを弛め、シャッターの位置を適宜調整して下さい。

### 重要

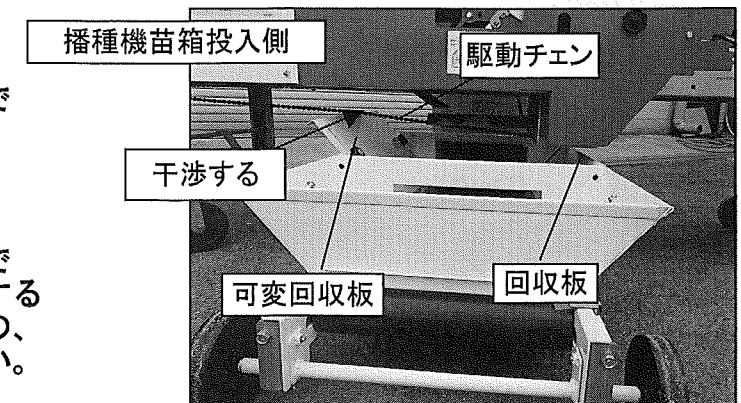
土質によって土の供給量が変わりますので作業をしながら、シャッター位置を適宜調整して下さい。



- ⑥ 可変回収板は高さを調整可能で、播種機の駆動チェーンに積もった土を回収できます。ノブボルトを弛めて、適宜高さを調整して下さい。

### ⚠ 注意

播種機の種類によっては回収板を伸ばす事ができない場合もあるので注意して下さい。



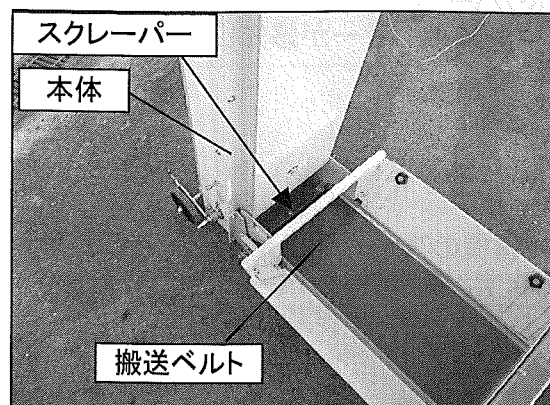
(上写真のようにセットしないで下さい)

### ⚠ 注意

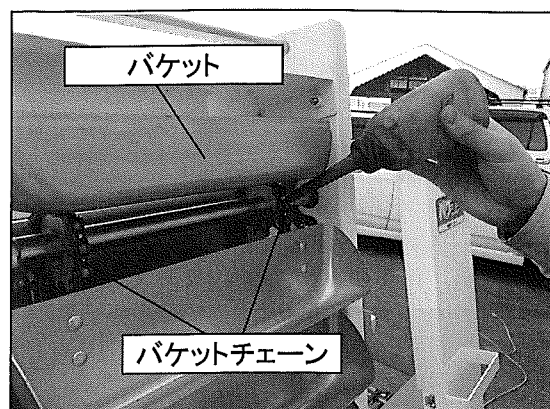
可変回収板と回収板は取替え可能で播種機苗箱投入側の回収板を高くすると駆動チェーンと干渉してトラブルの原因となりますので注意して下さい。

**注意**

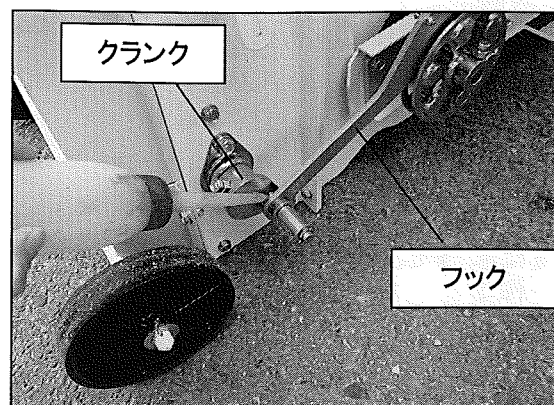
土に水分が多い場合はスクレーパーに土が付着して溜まることがあるので、適宜掃除をして下さい。



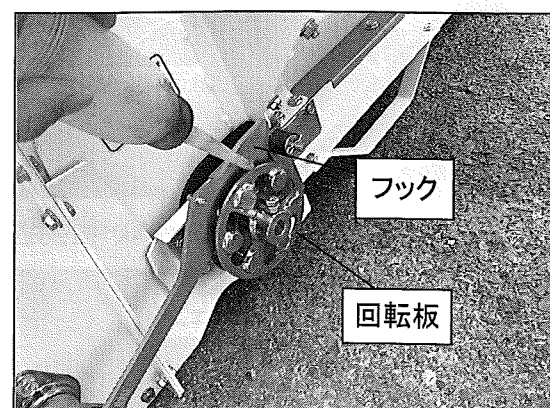
**8.注油箇所**



(バケットチェーン)



(クランク軸受部)



(フック)

**注意**

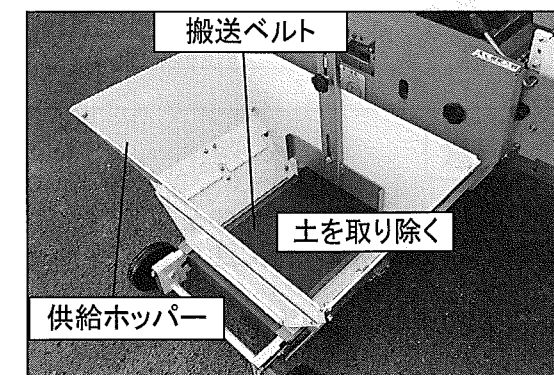
チェーンに注油する時は、土の付着がないことを確認して下さい。

**9.作業後の掃除と手入れ**

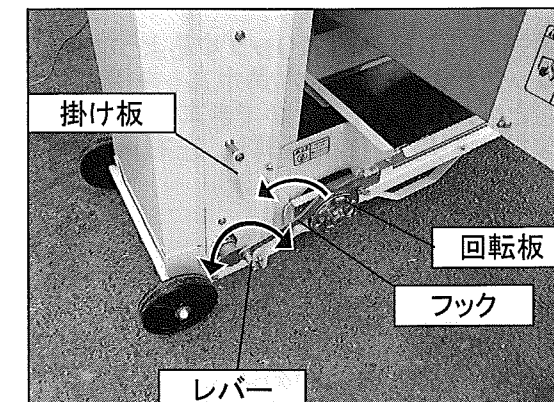
**注意**

各部の掃除を行う時は、必ず電源プラグを抜いてから行なって下さい。また、掃除の際に取り外してカバー類は必ず元通りに取付けておいて下さい。

- ① 供給ホッパー内及び搬送ベルト上にある土を取り除いて下さい。



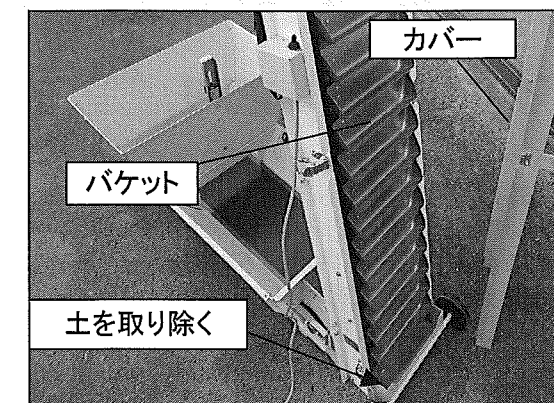
- ② フックを回転板から外して、本体の掛け板に掛けて下さい。



**重要**

フックが回転板から外れない場合は、レバーを右又は左に回して外せる位置にして下さい。

- ③ 搬送部を持ち上げ、本体と切り離して下さい。



- ④ カバーを外し、本体下部にある土やバケットに付着している土を取り除いて下さい。

## 10.各部の調整

### ▲ 注意

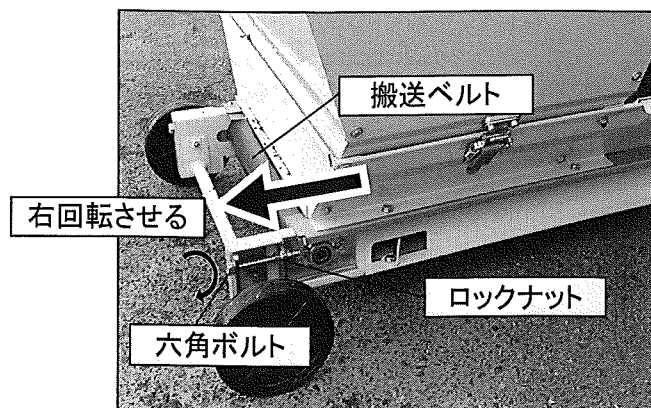
各部の調整を行う時は、必ず電源プラグを抜いてから行なって下さい。  
また、調整の際に取り外したカバー類は、必ず元通りに取付けておいて下さい。

### ▲ 注意

各部の調整を行う時は、チェーン・スプロケット等の回転部分に、手や指を挟まれないように、特に注意して作業を行って下さい。

### ■ 搬送ベルトの張り

搬送ベルトが弛みスリップするような時は、ロックナットを弛め、六角ボルトを締め込むとベルトを張ることができます。  
なお、張りすぎには注意し、左右同様に調整します。

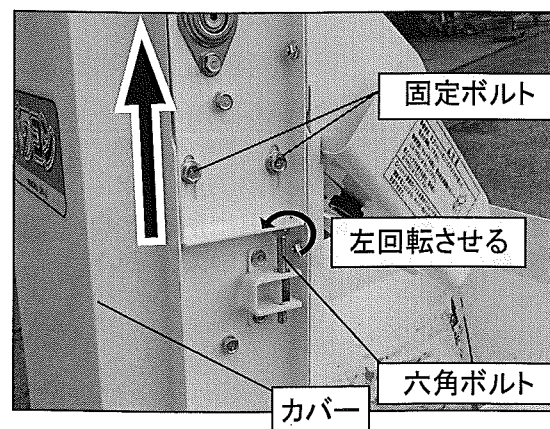


### ▲ 注意

張り調整後、時間と共にベルトが片寄りする場合は、片寄りした側の六角ボルトを1/4～1/2回転位締め込んで下さい。  
ベルトが側壁に軽く接するのは支障ありません。

### ■ バケットチェーンの張り

バケットチェーンが弛んだ場合は、カバーを外し、固定ボルトを弛めバケットチェーン中央部のたるみが20～25mm程度になるように、六角ボルトを左回転(反時計回り)させて調整して下さい。  
(左右同様にします。)

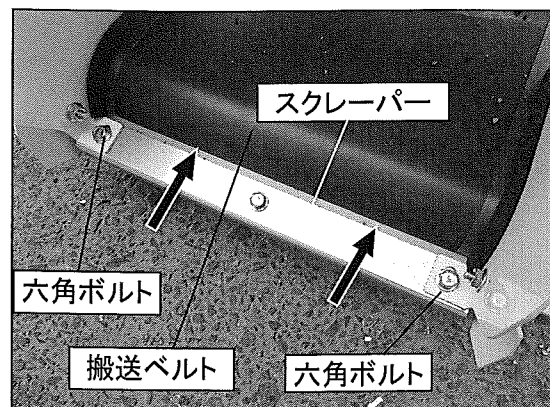


### 重要

調整後は必ず固定ボルトを締め込んで下さい。(左右各2カ所)

### ■ スクレーパーの調整

土のこぼれ防止のために左右2カ所の六角ボルトを弛め、スクレーパーを搬送ベルトに軽く押し当てるように調整して下さい。



### ◆ 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

### ◆ 純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、本機に一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷しておりますので、安心してご使用いただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や、機械の寿命を短くする原因になります。



## みのる産業株式会社

本社工場 〒709-0892 岡山県赤磐市下市447  
TEL(086)955-1123 (代) FAX(086)955-5520

東京支店 〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野210  
TEL(048)683-9451 (代) FAX(048)683-9452

長野営業所 〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野582-4  
TEL(026)257-6530 (代) FAX(026)257-6531

九州支店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1020-1  
TEL(092)921-6006 (代) FAX(092)921-6008

ホームページ <http://www.minoru-sangyo.co.jp>